

やまんなか便り

発行元：南山城村役場 産業観光課

発行日：令和5年11月1日



大水害から70年。12/2～の写真展にさきがけて 南山城水害に思いをはせる会

昭和28年(1953年)、南山城地域に大きな被害をもたらした豪雨。近頃はゲリラ豪雨など、ひとつと

ではありません。当時のお話を集めている「28災パネル展実行委員会」の皆さんと、写真を見ながら各地域がどのような経験をしたか想像してみましよう。歴史に学びながら各地域の防災情報交換もできたらと思っています！

【日時】R5年11月13日(月)13時30分～16時

【参加】無料(出入自由) ※もし、お手持ちの写真や資料があれば、ご持参ください。

【S28 大水害写真展】
日時：12/2 (土)～
場所：やまなみホール

当時の写真などのパネル展示が予定されています！



やまんなか ランチ会

先月は、バイキング形式を試してみました♪今後も、ゆっくりくつろげるよう、そして、よりお楽しみいただけるように試行錯誤していきます(^)/どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問合せください！ご参加お待ちしております！

【日時】R5年11月22日(水)

【時間】12時30分～

【参加】600円 ※未就学児以下無料

【申込】要予約。お電話、メール、スタッフまで

※参加希望が多い場合は、人数を制限する場合があります。



笛を吹こう会

はじめての方も、笛以外の楽器も、歌い手さんも大歓迎です！遊びにくるだけでもOK♪

【日時】11月1日(水)

【時間】10時～12時

【参加】無料(出入自由)



ちくちく手しごとの会

最近は羊毛フェルトが人気ですが、編み物、縫物、刺繍、なんでもお持ちくださいね☆

【日時】11月24日(金)

【時間】13時半～16時

【参加】無料(出入自由)



良子さんの 鯖寿司作り教室

旧大河原村の地域で秋のお祭りにあわせて作られている鯖寿司。今年も、ご希望の声にお応えして開催します！竹の皮に包んだ状態で、1本まるごとお持ち帰り！

【日時】R5年11月15日(水) 13時30分～16時

【参加費】材料費を参加人数で割り勘 (2千円前後)

【持ち物】エプロン・三角巾・タオル

【定員】先着10名 ※11/10(金)までに要予約



移住交流スペース「やまんなか」

(田山の郵便局のお隣り)

☎ 0743-94-0666

✉ murapura163@gmail.com

<来月のイベント>

12/10(日) 演奏会

南山城村アコギ CLUB

「風をあつめて」



野殿地区の移住7人家族に、ささやかなプレゼント☆

移住交流推進員

野崎弘之

童仙房地区で空き家バンク登録のご相談があり、物件確認と今後の予定を打ち合わせに行った際の事です。物件内に「電子ピアノ」が残されていました。普通のピアノではない「電子ピアノ」は、売ってもそこまで値がつかないし運搬にも困るため、所有者である横畑直樹さんに処分を依頼されたのですが、個人的にとっても「勿体ない」という気持ちになってしまったのは言うまでもありません(笑)。

そこで横畑さんに「もし、近辺の移住者で欲しいという人が現れたら譲ってあげてもいいでしょうか?」と尋ねてみたところ、快く承諾してくださいました。そうなると僕の脳内



で瞬時に浮かび上がったのが、今年3月末に野殿地区に移住して来られた西島さんファミリーでした。熊本県から移住された西島さんファミリーはなんと7人家族!ご主人である西島悠祐さんは宇治市の出身で、今年から家業を手伝う事になり昨年何度も村へ移住相談に来られていた経緯があります。普段から少子高齢化問題に向き合っている自分してみると「子供5人」というプロフィールは衝撃的で、何とか村に来て貰いたいと思って動きまわったものでした。野殿区長である山本隆弘さんをはじめ様々な方にご協力をいただき、おかげ様で野殿地区に西島さんファミリーを受け入れていただく事ができました。あれからすでに半年以上経ってしまっていますが、その間、時折お

互い連絡し合ったり、野殿地区に行く際には直接訪問したり、むら暮らしのサポートをさせていただいていたのです。

そんなこんなで今回の件、たしか長女ちゃんが小学3年生だったはずなので、これからピアノとかに興味を持ち始めるのではないかなあと思ってご意向を聞いてみたところ「ぜひ譲って欲しい」との事だったのでそのまま話が進んでいきました。引き取り当日、横畑さんにも新しい移住者である西島さんを紹介することができ、ピアノのおかげで新しいご縁が生まれたそんな瞬間であったようにも感じます☆



さて、ピアノが運び込まれた時の子供たちのはしゃぎ様たるや(笑)、もう写真ではなく動画でお届けしたいぐらいなのですが、なにはともあれ「村内の資源」が今後も有効に活用されていく事に、素直に喜びを感じています。「不動産」だけでなく、空き家に置き去りにされた「動産物」もまた、新しい息吹とストーリーを重ねていく事ができるのであれば素敵な事だと思います。